

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公表番号】特表 2001-516237(P2001-516237A)

【公表日】平成 13 年 9 月 25 日 (2001.9.25)

【出願番号】特願平 10-537665

【国際特許分類第 7 版】

A 6 2 B 18/02

A 6 1 B 19/00

// A 4 1 D 31/00

D 0 4 H 3/16

【F I】

A 6 2 B 18/02 C

A 6 1 B 19/00 5 1 2

A 4 1 D 31/00 5 0 2 E

D 0 4 H 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 19 日 (2005.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 年 月 日 17.1.19

特許庁長官 小 川 洋 殿



1. 事件の表示 平成 1 0 年特許願第 5 3 7 6 6 5 号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 キンバリー クラーク ワールドワイド
インコーポレイテッド

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内 3 丁目 3 番 1 号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. (本補正により請求の範囲に記載された請求項の数は合計「12」
となりました。)

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り

請求の範囲

1. スパンボンド/メルトブロー/スパンボンド (SMS) 積層と、
最も内側の層と、
前記スパンボンド/メルトブロー/スパンボンド積層と前記最も内側の層との
中間に配置された少なくとも一つの付加的濾過層と、からなり、
前記最も内側の層は、湿式堆積カバーストック、スパンボンド層及び第2の
スパンボンド/メルトブロー/スパンボンド積層とからなる群から選択されるも
のであることを特徴とする顔用マスク。
2. 前記スパンボンド/メルトブロー/スパンボンド積層は最も外側の層であるこ
とを特徴とする請求項1に記載の顔用マスク。
3. 前記少なくとも一つの付加的濾過層がメルトブロー布からなることを特徴と
する請求項1に記載の顔用マスク。
4. 前記メルトブロー布はエレクトレットであることを特徴とする請求項3に記
載の顔用マスク。
5. 前記SMS積層は、約0.7から約1.25オンス/平方ヤード (0sy) の基本重量を有
することを特徴とする請求項1に記載の顔用マスク。
6. 前記メルトブロー層は、約0.1から約0.15オンス/平方ヤード (0sy) の基本
重量を有することを特徴とする請求項3に記載の顔用マスク。
7. スパンボンド/メルトブロー/スパンボンド (SMS) 積層からなる最も外側の層
と、
中間エレクトレット濾過層と、最も内側の層と、からなり、前記中間層は、
前記最も外側の層と前記最も内側の層との間に配置されており、
前記最も内側の層は、湿式堆積カバーストック、スパンボンド層及び第2のス
パンボンド/メルトブロー/スパンボンド積層とからなる群から選択されるもの
であることを特徴とする顔用マスク。
8. 前記SMS積層は、約1.25オンス/平方ヤード (0sy) 未満の基本重量を有する
ことを特徴とする請求項7に記載の顔用マスク。
9. 前記SMS積層の前記メルトブロー層は、約0.3オンス/平方ヤード (0sy) 未満
の基本重量を有することを特徴とする請求項8に記載の顔用マスク。

10. 前記SMS積層は、約0.7から約1.25オンス/平方ヤード (0sy) の基本重量を有することを特徴とする請求項8に記載の顔用マスク。
11. 前記SMS積層の前記メルトブロー層は、約0.1から約0.15オンス/平方ヤード (0sy) の基本重量を有するものであることを特徴とする請求項9に記載の顔用マスク。
12. 前記中間エレクトレット濾過層は少なくとも一つのエレクトレットメルトブロー布層からなることを特徴とする請求項7に記載の顔用マスク。